

議 事 録

1 概要

会議名		令和7年度第1回 児玉郡市障害者自立支援協議会全体会
事務局		基幹相談支援センター、本庄市
開催日時		令和7年7月8日（火） 13時30分～14時40分
開催場所		本庄市役所 6階 大会議室
出席者	委員	出席：19人 欠席：5人
	専門部会等	運営会議長、相談支援部会長、就労支援部会長、子ども部会長、委託相談事業所（さわやか（友愛会）2人、さわやか（梨花の里）1人、みさと1人、就労支援センター（兼務）
	事務局他	基幹相談支援センター3人、本庄市4人、美里町2人、上里町1人、神川町2人
配布資料		1. 委嘱状（該当者のみ） 2. 次第 3. 【資料1】令和7年度児玉郡市障害者自立支援協議会委員構成表 4. 【資料2】児玉郡市障害者自立支援協議会設置要綱 5. 【資料3】児玉郡市障害者自立支援協議会の構成（体系図） 6. 【資料4－1、2】令和6年度決算書、令和7年度予算書案 7. 【資料5－1～8】令和6年度活動報告及び令和7年度活動計画他 8. 【資料6】児玉郡市障害者相談支援事業実施方針 9. 【資料7－1～6】基幹相談支援センター実績報告・自己評価、各委託事業所の令和7年度年間事業計画
会議次第		1. 開会 2. 自立支援協議会の概要説明 3. 自己紹介 4. 議事 （1）令和6年度会計報告及び令和7年度予算案について （2）令和6年度活動報告及び令和7年度活動計画について （3）委託事業所の令和6年度活動報告及び令和7年度事業計画について （4）その他 部会化していない連絡会について 5. 閉会

2 審議経過

1. 開会

児玉郡市障害者自立支援協議会設置要綱第6条第3項では、全体会は委員の過半数の出席をもって開催することができると規定されており、当日は過半数の委員が出席したため、会議が成立となることを報告。

2. 自立支援協議会の概要説明

新たに委嘱された委員がいるため、【資料2】設置要綱及び【資料3】体系図を用いて、当該協議会の役割や体系について説明。

3. 自己紹介

令和7年4月から新たに委員となった方もいるため、出席者全員が自己紹介を行った。

4. 議事

(1) 令和6年度会計報告及び令和7年度予算案について

【資料4-1】に基づき、令和6年度の決算内容及び監査結果について報告。

また、【資料4-2】に基づき、令和7年度予算書（案）について報告し、協議会から承認を得た。

(2) 令和6年度活動報告及び令和7年度活動計画について

・運営会議について

【資料5-1】に基づき、会議長（児玉郡市障がい者就労支援センター 相川氏）から説明。

・相談支援部会について

【資料5-2】に基づき、部会長（相談支援事業所ひまわり 田草川氏）から説明。

・就労支援部会について

【資料5-3】に基づき、部会長（障害者就業・生活支援センターこだま 黒澤氏）から説明。

・こども部会について

【資料5-4】に基づき、部会長（児童発達支援・放課後等デイサービスピース 相川氏）から説明。

(3) 委託事業所の令和6年度活動報告及び令和7年度事業計画について

【資料7-1～2】に基づいて基幹相談支援センターより説明。また、他の4つのセンターの年間事業計画【資料7-3～6】を作成し、当該資料に基づき、事務局から説明した。

(4) その他

部会化していない連絡会について。

○医ケア児等について、基幹相談支援センターから説明。

- ・医療的ケア児等コーディネーターとは医療的ケア児等が必要な相談に応じて、またその方のライフステージに合わせた総合相談・総合調整を行い、地域の社会資源の把握や開発も役割としてある。
- ・児玉郡市内の医療的ケアが必要な人は障害者2名障害児5名（R7.4現在）。
- ・連絡会は令和6年11月と令和7年5月に開催しており、11月は情報共有、5月は医療用語の勉強会や今後の方向性について協議した。
- ・埼玉県内には医療的ケア児等支援センターとして県センター1か所と地域センターが4か所あり、5か所の体制となっている。児玉郡市の相談窓口は熊谷市にある地域センター「たいよう」が担当しており、今後「たいよう」の担当者にも連絡会に参加していただき、県内の他の地域の状況や実情について講義していただく予定。事例の検討を通して、地域課題の抽出や対策をしていきたいと考えている。支援体制についてはまだ整っていないため、コーディネーターを中心に地域に暮らす医療的ケアが必要な方々が安心できる地域づくりをしていきたい。

○サービス管理責任者連絡会について、基幹相談支援センターから説明。

現在、入所や通所等の専門部会はないため、令和6年1月に各施設にいるサービス管理責任者に集まっていただき連絡会を開催。参加者は27事業所36名。横のつながりが必要、顔の見える関係づくり、医療ケアが必要な方の課題、8050課題、災害時感染時の対策等の課題が出た。今年度については細分化したサービス管理責任者の集まりをしたいと考えている。

○就労継続支援B型の連絡会について、事務局から説明。

令和5年に就労継続支援B型事業所の職員の投げかけにより自発的に発足。年に1～2回開催し虐待防止研修や報酬改定についての研修を受けながら横のつながりを意識した集まりとなっている。今後はグループワークを検討し、就労支援から見た地域課題の協議を行う予定。

5. 閉会

○副会長閉会の辞。

- ・ここ数年で基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の整備ができてきたため、今後は、支援を必要とする方が使いやすいようにするには何が課題か、協議・報告していただきたい。全体会でも協議や報告していただけると、自分たちが抱える課題として情報共有ができ、少しでも役立てればと考えている。

○次回の全体会は令和8年2月頃を予定。